



歯周病対策で健康力をアップさせよう!



「歯周病」とは歯と歯を支える歯ぐきなどの組織(歯周組織)におけるさまざまな病態の総称です。わが国では、中高年の8割以上がこの歯周病にかかっているといわれています。



歯は、食べ物がはじめて出会う「消化器」です。
歯周病が全身のさまざまな病気に関わっていることがわかってきています。

肺炎

食べ物と一緒に歯周病菌が気管に入り、誤嚥性肺炎になる可能性があります。

動脈硬化

歯周病菌は血栓を作りやすく、脳卒中・脳梗塞を起こす危険性は2~3倍になります。

低体重児出産・早産

歯周病の炎症成分が子宮を収縮させるスイッチになり、低体重児出産・早産の危険性は7.5倍になります。

喫煙

喫煙は歯周病の進行を2~9倍悪化させる危険因子です。

糖尿病

糖尿病の人は、免疫力が低下して、歯茎の炎症が起こりやすくなるため、歯周病を悪化させます。さらに、歯周病がひどくなると血糖値をコントロールするインスリンの働きを妨げて、糖尿病の状態を悪くするといわれています。

認知症

認知症の大半を占めるアルツハイマー型認知症は、脳に萎縮が見られるのが特徴です。残っている歯が少ない人ほど噛む力が低下し、脳血流が減少することで脳の萎縮が進んでいたという報告があります。

歯周病



歯周病予防には「セルフケア」と「定期検診」が重要ポイント!

歯周病予防には、歯みがきなどのセルフケアに加え、歯科医師や歯科衛生士など専門家のプロケアも欠かせません。牛久市では対象年齢の方に、歯周疾患検診の受診券をお渡ししています。

今年の検診対象者は…30歳・40歳・50歳・60歳・70歳・80歳の節目の方(年齢は平成28年3月31日現在)

「歯周疾患検診」10年に一度のチャンス!

歯周疾患検診では主に歯周病の進行具合を確認してアドバイスを行います。10年に一度の節目検診です。自覚症状がなく普段なかなか歯医者さんに行かない人こそ、この機会にぜひご利用ください。

(平成27年度に対象となる方には、4月に受診券と協力医療機関についての案内をお送りしています。受診券や案内が必要な方はお手数でもご連絡ください)

歯周疾患検診は、牛久市歯科医師会加入の全ての医療機関の協力のもと実施しています

